

ようこそ小澤製作所へ！

新入社員紹介

今回は、即戦力として期待される2名の新入社員をご紹介します。
これまでのキャリアで培ってきたこと、そして小澤製作所での目標について伺いました。お人柄はもちろんのこと、これまでの経験と、会社への期待が伝わるインタビューとなりました。



第一工事部
ないとう ひろき
内藤 大貴さん

前職と入社の経緯

建設業界で一人親方として働いていました。工務店からの依頼を受けて建物を造る仕事をしており、特に機械系の案件を多く手掛けておりました。個人事業主として多岐にわたる案件を手掛ける中で、大変なこともあり、安定した環境を志向するように。会社について調べると、現場の仕事からキャリアチェンジやキャリアアップができる可能性を感じました。面接時にもキャリアパスについて伺うことができ、将来の展望が開けると確信。充実した福利厚生や給与面も、入社の手始めとなりました。

今後の意気込み

一人親方で経験した営業から現場作業、職人との連携までを活かし、一日も早く会社の戦力となるよう目指します。今後は多様な現場を経験し、施工管理技士の資格取得に挑戦していく所存です。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

安定と成長を求め、
選んだ新天地

出身地 愛媛県今治市

幼少期のみ、ここで過ごしました。

好きな食べ物 肉

特に焼肉が好きで、韓国風の食べ方が好みます。一番好きな部位はタンです。

学生時代の部活動 剣道部

中学校～高校の6年間、剣道部に所属していました。東海大会まで出場した経験があり、三段の腕前です。

タイムマシーンで行きたい時代 縄文時代

最近の研究で、縄文時代は最も平和でサステナブルな時代だったと聞きました。その様子を実際に見たり、土器を作ったりして過ごしてみたいと思います。

3日間だけ別の生き物になれるとしたら？ シャチかクジラ

海の広大な世界をくまなく見て回ってみたいという思いがあります。

リフレッシュ方法 4歳の息子と遊ぶこと

公園で遊ぶなどして、子どもとの触れ合いを通じて心身ともにリフレッシュしています。



第一工事部
さかもと じゅん
坂本 淳さん

前職と入社の経緯

以前は同業他社で働いていました。ちょうど退職を考えていたときにお声がけいただいたのが、転職のきっかけです。入社の手始めは、皆さんの人柄の良さでした。面接などで社員の方々と接する機会がありましたが、皆さん大変話しやすい方ばかりだと感じました。また、前職で身につけたCADなどの知識を活かせそうだったことも、小澤製作所に決めた理由の一つです。

今後の意気込み

経験があるとはいえ、前職では扱っていなかった機械も多く、これから覚えるべきことも多数あります。まずはそれらの扱いに慣れ、同時に図面を描くスピードを上げることが当面の目標です。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

温かい人柄に惹かれ、
経験を活かす

趣味 野球観戦

名古屋出身ということで、中日ドラゴンズを応援しています。昔は球場に足を運んでいましたが、今はテレビやアプリで見るのがほとんど。ピッチャーがどのコースに、どのようなボールを投げるかを予想しながら見るのが好きです。

マイブーム 塩ラーメン

おすすめのお店は大須にある「らーめん かざみどり」です。ここに行くと塩ラーメンしか食べません。また、平日の昼食には、よくカップラーメンを食べています。



チャレンジしたいこと フォークリフトの資格取得

仕事の幅を広げるためにも、ゆくゆくは取得したいと考えています。しかし、今はCADの講習や別の資格の勉強もしているため、少し先になるかもしれません。

リフレッシュ方法 とにかく寝る！

平日の睡眠時間は5時間ほど。その分、休日は0時に寝て10時に起きています。その後、昼食を食べてからまた寝てしまうこともあります。1日中、寝て起きてを繰り返すと心身ともにリフレッシュできます。

仕事のモットー メリハリを大事にする

だらだらと仕事をするのは効率が悪いので、無駄なく終わらせて、早く帰るときは帰るようにしています。また、仕事とプライベートのオン・オフの切り替えも重要。プライベートが充実してこそ、仕事も充実させることができと思っています。

3日間だけ別の生き物になれるとしたら？ 鳥

空を飛びながら、自由気ままに過ごしたいと思います。



会社の舵取りに参加する パーパスの紹介

中期経営計画の策定に向け、今後の小澤製作所が目指すべき指針であり、市場における当社の存在価値を示す「パーパス」を策定いたしました。

営業部 ゼネラルマネージャー 兼
第一工事部 ゼネラルマネージャー

にし しんべい

西 真平さん

小澤製作所の
パーパス

「専門性と創像力で社会に未来をつなぐ」

そもそも……パーパスって？

パーパスとは企業のミッションやビジョンではなく、市場における当社の「存在意義」を意味します。小澤製作所が、どのようなベクトルで発展していくのか、という指針であると言えます。

行動指針となるキーワードとして掲げてきた「挑創応」に代わるものではなく、どちらも大切にしていってほしいと考えています。この前提をご理解いただいた上で、パーパスを重視し、当社の一員として、日々の業務に努めていただきたいと思います。今期以降、パーパスを踏まえて中期経営計画を練ることになります。中期経営計画は「5～10年の期間を見据えて、達成すべき目標」です。将来に向け、企業の成長や持続的な発展を目指して、具体的な戦略と行動計画を策定するものです。

策定の過程アレコレ

社員自身が会社のあり方を決めた初めての機会

パーパスの策定に携わったメンバーは、両社長と、ゼネラルマネージャー以上の役職者6名、外部顧問の計9名。月に2回、1回あたり1～2時間の会議を行ってきました。約1年にわたり話し合いを続けたため、50時間ほど費やしたことになります。

これまで当社では、パーパスを策定したことがありませんでした。外部顧問から資料を提供していただき、パーパスに対する理解を深め、全員が意見を出し合いながら方針をまとめていきました。

会社の方針としても、トップダウンで組織が動く形から、ゼネラルマネージャーを中心に社員が自ら行動する集団に変えていく過程でもありました。そのためパーパスも、全員が対等に意見を交わして作り上げたものです。

会議を始めた当初は、社長以外は意見を出すことが少ない状況でした。「意見として何を挙げたら良いかわからない」が本音だったと推察されます。

印象に残ったエピソード

Zoomの活用により話し合いが活性化

転機となったのは、会議が始まってから6か月後。Web参加を許可し、Zoomを使用して会議を行ったことでした。ホワイトボード機能を使い、各自が考えを付箋のように出し合うことで、あらたまった会議よりも意見を挙げやすくなりました。文章としてまとまっていなくても、単語や一言メッセージで発信できるようになった結果であると考えられます。



パーパス策定を通して

皆が同じ方向を向いて

パーパスを策定するためには、以下の理解を深める必要がありました。

①顕在的な部分から潜在的な部分まで、どのような特徴があるのかを確認

②「P E S T 分析」(政治的・経済的・社会的・技術的の4つの視点から対象を分析すること)を行い、世界を見据えた際の当社の立ち位置を把握

③競合他社との関係性などを洗い出し、他社ができること、当社ができることを整理

④市場ニーズの検討

その上で

分析と検討を経て、

「小澤製作所の強みは何なのか」を導き出しました。

今後求められるニーズをどのように解決するのかを話し合いました。これまで、会社の現況と未来について、社員自身が考える機会はありませんでした。初めての経験にメンバー全員が苦心していました。しかし困難を乗り越えパーパスを創り上げたとき、皆が会社の置かれている現況やあるべき姿を、自分ごととして考えることができるようになっていました。

その結果

驚くべきことに、「小澤製作所としてどうありたいか」は、おおむね一致していました。思いを言語化し、伝え合うことの重要性に気付かされました。

社員の皆さんへ

現在、中期経営計画の策定中ですが、パーパスと企業理念を土台に、目標に向かって邁進していきましょう！

